学校番号	１２０１

令和８年度　情報科

教科	専 情報	科目	（学）ワープロ実務	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	日本語ワープロ検定試験　模擬問題集２・準２級編（日本情報処理検定協会） プレゼンテーション作成検定試験 模擬問題集３・４級編（日本情報処理検定協会） 情報処理技能表計算検定試験　模擬問題集３・４級編（日本情報処理検定協会）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

タッチタイピングやコンピュータの標準的なソフトｏｆｆｉｃｅの「Ｗｏｒｄ」と「Ｅｘｃｅｌ」、「ＰｏｗｅｒＰｏｉｎｔ」を基礎から学習し、検定取得を目標にしていく。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
　年に２回ある検定試験で、ワープロ検定２級、情報処理検定（表計算）３級、プレゼンテーション作成検定３級取得程度の知識及び技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
　ＷｏｒｄとＥｘｃｅｌ、ＰｏｗｅｒＰｏｉｎｔの基本から学び、自分で活用できるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
　情報モラルを理解し、実生活で活かす事ができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・タッチメソッドの基礎を習得し活用している。 ・課題を解決する為の適切で正確な技術を身につけている。	・授業で学んだ方法を理解し適切な場面で活かすことができる。 ・学んだ知識や技術を応用し、問題を解決のための適切な方法を考えることができる。	・主体的にｏｆｆｉｃｅを活用するよう学習している。 ・授業で学んだ知識・技術を積極的に活用し、より効果的に問題解決を行うための方法を考えている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	ワープロ	コンピュータの基礎 ワープロソフト	a:問題を解決するための知識が十分にある。 a:ワープロソフトの標準的な機能を習得している。 b:学んだ知識を自分で考え判断し思考している。 c:コンピュータに興味を持ち積極的に活用している。	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ基本課題 提出データ (技術判断)	応用課題 提出データ (応用性判断)	実習観察 授業態度 質疑応答
2学期	表計算	表計算ソフト プレゼンテーションソフト	a:問題を解決するための知識が十分にある。 b:学んだ知識を自分で考え判断し自分で応用できている。 c:表計算ソフト・プレゼンテーションソフトに興味をもち、積極的に活用しようとしている。 c:関数を用いた計算などを習得し活用できている。	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ基本課題 提出データ (技術判断)	応用課題 提出データ (応用性判断)	実習観察 (個別指導含む) 授業態度 質疑応答
3学期	発展演習	ワープロソフト・表計算ソフトの発展演習	a:問題を解決するための知識が十分にある。 b:学んだ知識を自分で考え判断し自分で応用できている。 c:学習内容に興味をもち、積極的に活用しようとしている。 c:学習した機能を習得し活用できている。	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ基本課題 提出データ (技術判断)	応用課題 提出データ (応用性判断)	実習観察 (個別指導含む) 授業態度 質疑応答

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度